

2020年11月17日

**冷蔵ケースの温度を LiCONEX の無線制御により自動で測定、管理
 測定作業の人件費を大幅に削減可能！
 「HACCP 対応冷ケース温度測定サービス」を開始**



アイリスオーヤマ株式会社（本社：仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、当社独自の無線制御システムである「LiCONEX（ライコネックス）」の機能を応用し、冷凍庫・冷蔵ケースの温度を自動で測定し、集約できる「HACCP 対応冷ケース温度測定サービス」を2020年12月より開始します。

HACCP 基準^{※1}による衛生管理は、2018年の改正食品衛生法により、義務化された衛生管理の手法で、食品における食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を除去又は低減するために重要な工程の管理と、製品の安全性の確保のための基準です。食品製造業や食品販売業、飲食店など、食品の製造や加工、販売などを行う全ての食品等事業者は、この基準に則った衛生管理計画の作成・実行や確認^{※2}などが求められます。

今回開始する「HACCP 対応冷ケース温度測定サービス」は、LiCONEXの通信制御システムを活用することで、店舗や工場などに設置された冷凍庫・冷蔵ケースの温度測定データを自動で測定し、集約します。「LiCONEX」は、当社が照明制御事業に本格参入した2017年に発表した独自の通信プロトコルによる無線制御システムで、設備に関わる工事^{※3}を簡略化でき、各設備の稼働状況の見える化や制御ができます。

今回のサービスでは、HACCP 基準^{※2}による衛生管理に必要な情報の収集に関わる目視測定作業と記録用紙への集約作業に必要な約130分/日^{※4}の業務負担を軽減でき、人件費も約65,000円/月^{※5}削減できるため、人材を単純作業から本質的な業務に配置転換できます。また、約2年間の保管が義務付けられる記録書も電子データとしてパソコン上に蓄積、保管できるので保管場所が不要で検索も容易です。

当社は今後も「ユーザーイン」の視点でトータルソリューションの提案を行い、当社のネットワークを活かし様々な商材・サービスを組み合わせることで、働き方改革に対応する省人化や業務の効率化に貢献します。

- ※1 HACCP…Hazard Analysis and Critical Control Point（危害要因分析重要管理点）
国連の国連食糧農業機関（FAO）と世界保健機関（WHO）の合同機関である食品規格（コーデックス）委員会から発表され、各国に採用を推奨している国際的に認められた基準。日本では2020年6月施行、2021年6月完全制度化予定。
- ※2 8時間に1度の温度測定の実施が推奨。
- ※3 電池タイプのセンサーを使用の場合、電気工事不要で設置可能。
- ※4 温度測定、記録：約70分+データ入力作業：約60分=約130分/日。算出は当社試算による。
- ※5 作業時間：約130分（2時間10分）×30日（1ヶ月）×時給1,000円=65,000円。算出は当社試算による。

NEWS RELEASE

■商品特長

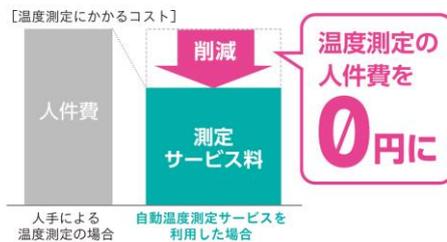
1. 無線通信による温度管理情報の自動測定、集約で業務改善をサポート
2. 冷凍庫、冷蔵ケースなど様々な冷機器に対応
3. 無線通信のため、設備に関わる工事^{※3}を簡素化

1. 無線通信による温度管理情報の自動測定、集約で業務改善をサポート

当社独自の通信プロトコル採用の無線制御システム「LiCONEX」を活用することで、店舗や工場などに設置された冷凍庫・冷蔵ケースの温度測定データを自動で測定し、集約します。HACCP 基準^{※1}による衛生管理に必要な情報の収集に関わる目視測定作業と記録用紙への集約作業に必要な約 130 分/日^{※4}の業務負担を軽減でき、人件費も約 65,000 円/月^{※5}削減できるため、人材を単純作業から本質的な業務に配置転換できます。また、約 2 年間の保管が義務付けられる記録書も電子データとしてパソコン上に蓄積、保管できるので保管場所が不要で検索も容易です。



今までは…
人手での温度測定は時間も手間もかかり、記録漏れなど人的ミスの可能性も。



2. 冷凍庫、冷蔵ケースなど様々な冷機器に対応

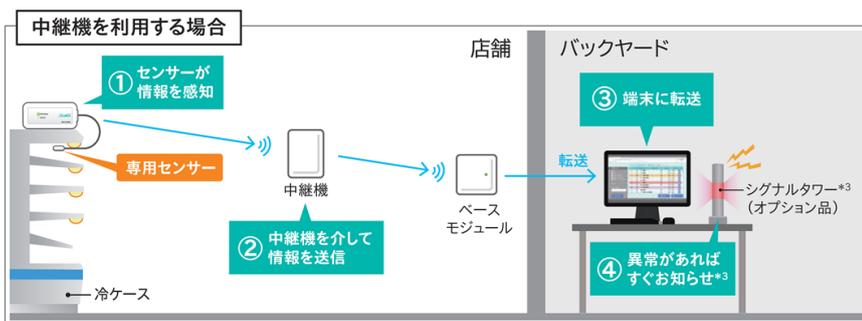
専用センサーはマグネットにより簡単に設置が可能です。また、温度測定範囲は-30℃～+30℃まで測定できるため、スーパーマーケットや飲食店の冷蔵庫・冷蔵ケースだけでなく、食品加工工場などの大型冷凍庫などにも対応します。



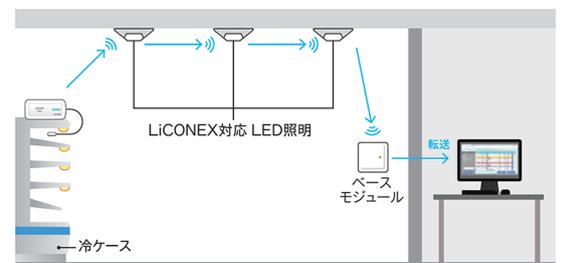
* 電源供給タイプは配線工事が別途必要です。

3. 無線通信のため、設備に関わる工事^{※3}を簡素化

当社独自の通信プロトコルによる無線制御システム「LiCONEX」により、設備に関わる工事^{※3}を簡略化でき、各設備の稼働状況の見える化や制御ができます。



設置イメージ



LiCONEX 対応 LED 照明の通信網を利用することも可能

※1 HACCP…Hazard Analysis and Critical Control Point (危害要因分析重要管理点)
国連の国連食糧農業機関 (FAO) と世界保健機関 (WHO) の合同機関である食品規格 (コーデックス) 委員会から発表され、各国に採用を推奨している国際的に認められた基準。日本では 2020 年 6 月施行、2021 年 6 月完全制度化予定。

※3 電池タイプのセンサーを使用の場合、電気工事不要で設置可能。

※4 温度測定、記録: 約 70 分+データ入力作業: 約 60 分=約 130 分/日。算出は当社試算による。

※5 作業時間: 約 130 分 (2 時間 10 分) × 30 日 (1 ヶ月) × 時給 1,000 円=65,000 円。算出は当社試算による。

NEWS RELEASE

■商品仕様

商品名	電池タイプ	電源供給タイプ
商品画像		
サイズ※	幅 80×奥行 15×高さ 40mm	
重量	約 50g	
温度測定範囲	-30℃～+30℃	
温度測定分解能	0.1℃	
温度測定周期	最短 1分	
給電方式	CR2450 電池×2 個	DC24V

※商品サイズは変更になる場合がございます。

■基本サービスプラン

月額 **¥500** / センサー
1台あたり

専用センサー代・機器代・
システム使用料込み

初回設置料・
設計料込み

年1回の
定期点検込み

初回契約2年間
(その後1年更新)

<LiCONEX について>

■無線の照明制御装置のため、大掛かりな工事が不要

無線のため天井裏で大掛かりな配線工事をせずに設置でき、周辺機器も通信の親機となる「ベースモジュール」のみで操作できるため、有線の照明制御システムと比較して初期投資を大幅に抑えることができます。

■ウェブアプリによって、タブレットやスマートフォンから個別の制御が可能

ウェブアプリを通して操作でき、タブレット、スマートフォン、パソコンなど、様々な機器から操作が可能です。照明器具を個別に制御することができるため、離席時に自分の席のみ消灯するなどの細かな節電が可能です。

■独自開発の「メッシュリンクプロトコル」による高い安定性と高速通信

当社独自の通信方式である「メッシュリンクプロトコル」により、照明器具から照明器具へとリレー方式で信号を伝達します。指定の照明器具まで信号を伝える最短ルートをそれぞれの照明器具が自動で選択するので、素早く安定した通信が可能です。

